
まえがき

私達は、日々社会の中で生きています。1人で暮らしている人も一歩家から出ると、そこには多種多様な人間関係にさらされることとなります。

個人主義の世の中になったとはいえ、誰しも誰かとつながり生きています。

小さな赤ん坊の頃から、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、社会人に至るまで、さまざまな人間関係の中に放り込まれ
ときには、素晴らしい出会いに恵まれ、ときにつらく厳しい人間関係に悩まされ、生きています。

その後も、恋人に出会ったり別れたり、結婚すれば嫁姑や、家族、ママ友との関係まで。
本当に、さまざまな人間関係の中で喜び、傷つき、生きています。

そんなふう生きる私たちは、人間関係に多かれ少なかれストレスを抱えて日々暮らしているのです。

小さなストレスも、積もり積もれば大きな重しとなって、もはや、なにが原因なのかさえわからなくなってしまう。

そんな孤独の中、自分を責めたり、社会を責めたり、自分の本来なすべきことさえ見失ってしまいます。

また、占い師として日々、お客様に直面し悩みの根源を一緒に探している中でも1番多い悩みというのが人間関係という中で、すべての方が自分をわかってほしい。理解されたい。

他者がどうしてそういう行動をとるのが、理解できずに悩まれています。

恋人の気持ちがどこにあるのか？

私は愛されているのか？ という悩みから、

一生懸命働いている自分に対して満足のいく評価がなされない、
家族が各々身勝手なことをして困る、まで、
それぞれが、自分と違う行動や思考を持っていることで、
わからないところに原因があるのだと。

それでは、どうすればわかりあえるようになるのか？

理解しあうというのは、なかなか難しいところではありますが、
自分自身が、人それぞれに思考の違いがあることを理解することによって、
ストレスを軽減することができるということを知ってもらいたいのです。

「知る」ということで、その対象者を違った見方で
受け入れることができるのです。

たとえば、東京の方は大阪の方を東京の人間と違う……、と
よくいます。大阪の方もまた、関東の人は……、と
それぞれの違いを理解しているのです。

人間といっても、多種多様な民族がいて、
その中でも、医者もいれば政治家、芸術家、軍人、農家、

それぞれに、思考は違っていて、
自分の思考が普通で、他者の思考は変わっていると感じる。

「あの人は芸術家だから……」

「アメリカ人だから、はっきりしてるね……」

を受け入れ、自分との思考の距離感をつかもうとするのです。

それが、小さな社会や家族や同僚や恋人になると、
突然、その理解するということをやめてしまい、

私を、理解してほしいにかわってしまい。

「こんなに頑張っているのに」「私は悪くない」になってしまうのです。

きっと、その相手も「私は悪くない」そう思っているために、
いろいろなトラブルやストレスが生まれてしまうのです。

そもそも、個々に思考があり、そこには捉え方の違いがあるにもか
かわらず……です。

「どうして私ばかり我慢しなければならないのか？」

「どうして友人は幸せそうに暮らしているのに私は……」

「我が家は、どうしていつもいがみ合っているのか……」など、
妬みや、コンプレックスを一度も感じず生きてきた方はいないはずで

昨今、テレビのワイドショーを賑わしている不倫においても、

浮気をしてしまう人は、浮気という恋をする質に生まれ、
浮気をするような人に惹かれてしまう人は、そういった人を選んで
一緒になっている場合も多く、
一般的には許せない不貞行為でも、

中には、「芸の肥やし」や「甲斐性」などと悪びれもせず、
普通のこととして考える人もいるのです。

そして、浮気は浮気と飽きるのを待っている奥様もいるのも事実です。

もちろん、許せないと別れてしまう人もいるでしょう。

それぞれの立場で、必ず思考がありその思考にのっとなって
日々、生きているわけです。

例を挙げてみましょう。

2人の女性が、ペットを飼いたいとペットショップに行き、
ウィンドウに並ぶ多種多様な子犬を見えています。

1人は、番犬タイプの日本犬を選び、もう1人はトイプードルのような
愛玩タイプの犬を選んだとしましょう。

日本犬を選ぶ人は、きっと超小型犬などは選ばないでしょうし
超小型犬を選ぶ人は、日本犬など選ばないはずです。

恋人を、動物にたとえるのはどうかと思いますが……、

日本犬を愛する人は、何度も日本犬を選ぶでしょう。
同じように、対人間になっても趣味はかぶってくるはずなのです。
人間も、特別ではなく種を残し続けようとする動物で、
美の遺伝子を追及する者、知の遺伝子を追及する者、
財力を追及する者、権力を追及しようとする者、
それぞれ、動物として進化の過程でよりよく子孫を残すという
動物特有の生存本能が、個々の趣味となるのでしょう。

友人関係でも、自分とよく似た思考を持つ人といれば楽でしょうし、

思考が違っている場合は、それなりに合わせてお付き合いします。
中でも、親友と呼べる友人は「なんでも自分をわかってくれる」

そういう安心感が、親しみを持つ友人という呼び方になるのでしょう。
誰もが、自分をわかってほしい。ただそう願っているのですから、

自分がまず人を理解すると、新しい関係性になれるかもしれません。

私が学んできた四柱推命ですが、文字に書いてしまうと、
堅く古く難しいイメージが定着しているかと思います。

ですが、根本的には思考や行動パターン、運命の中に隠された学び、
それらを統計学として利用し、生きるための「ススメ」である

聖書や経典と似たようなものだと思うのです。

当たる当たらないではなく、使いこなすことができれば、
あなたが生きるうえでの大きな武器になるかと思います。

最後に、私についてですが、
占師になろうなどと考える人に、平々凡々と生きてきた人など
いないかと思います。自分や自分の周りに起こる出来事に
七転八倒し、なんとか立ち直すすべを求めて興味を抱く方が多いと
思います。私は、14歳のときに父とは死別し、
20歳の誕生日が祖父の命日……。

とにかく、人の死に直面することが多かった人生でありました。

そればかりか、大病を患う以外のつらさはひと通り経験していて、
だからこそ、大病を背負われている方の苦しみ以外は、
その身においてお話しさせていただくことができます。
それでも、人は生きるしかなく、
それならば……、どうせならば……、

笑顔で、生きてもらいたい。

～笑顔になるために～が、私のブログのサブタイトルです。

1人でも多くの方に笑顔で生きていただけるよう、今後も活動してまいります。